



中世校勘解  
上

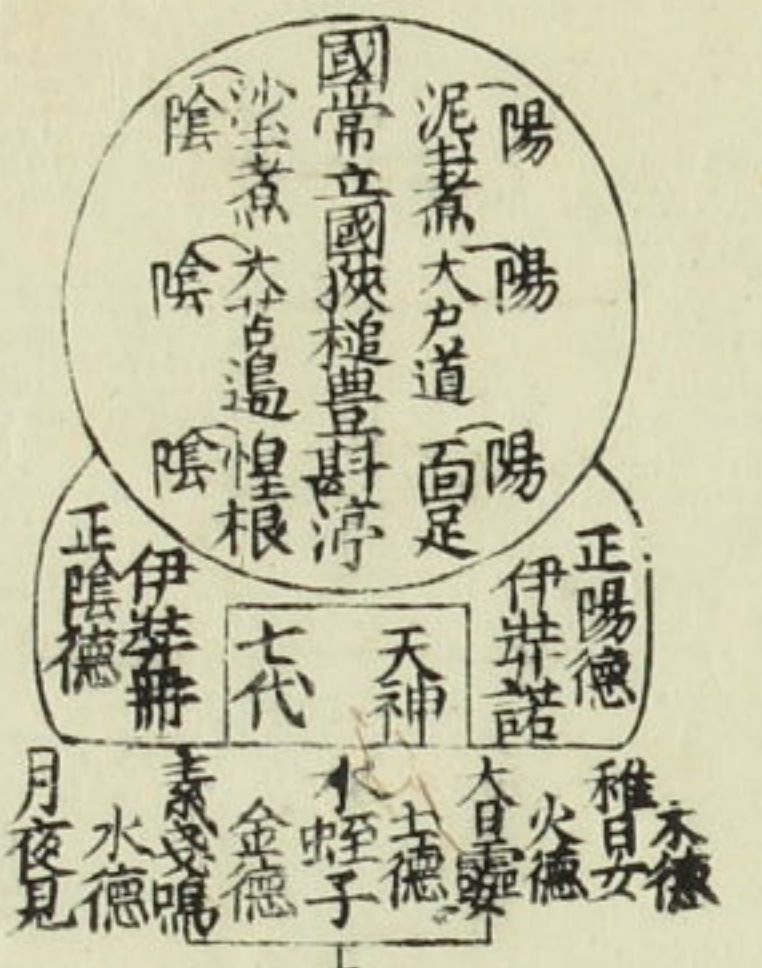
特別  
イ 4  
3163  
114(1)





度会延任陽復記の  
具細

天常之尊



大日本神皇之道

源至元至真也。無物不在。無時不

存神靈以之化生。寶祚因之悠

在位七十九年

神武天皇

皇聖壽百廿七歲

神皇之道之ハ唯

其

宗源之神道也

水 地 人 位  
德 德 德 德  
璽 杵 炎 覺 葦 不 合  
神 武 天 皇

久矣自

國常立尊

國常立尊天常立尊天御中主  
尊同體異名也則豐受太神伊

勢山田  
外宮

至 葺不合尊總十二代

天神七代  
地神五代

必以三代變上三代  
國常立尊國狹

槌尊豐斟  
停尊奇文

各一神下三代  
泥土煮尊陽德  
沙土煮尊陰德

大戸道尊陽德大苦邊尊陰德面  
足尊陽德惶根尊陰德耦文 東家 秘傳

各二神

上一神奇文  
下二神耦文

雖有名未見形

上三神乾卦  
下三神坤卦

自 伊弉諾尊

國常立より伊弉諾ま  
て天つ神七代や申す 至

忍穗耳尊

天照太神乃御  
子地神第二也

在天而

照臨萬品自

瓊々杵尊

日本大八  
洲主皇孫

外宮  
相殿

至  
葺不合尊

皇孫ノ葺不合尊  
イハレノ御八荒夫伊弉諾尊與

降地而統御八荒夫伊弉諾尊與

伊弉册尊共議之

日本和歌乃  
後産

五德

稚日女尊木德大日靈尊火德水德  
子尊土德素盞鳴尊金德月夜見尊

水德以上  
五行の

神靈天照太神與

地神  
第一素

鳴尊誓約之中生 忍穗耳尊

く小らら乃そのより。伊もなるのそのすて六代  
の運 敷八百位一カざいいごるまこれる二万二  
千四十四歳天照を祢る子丁卯一兩年まま  
二十万五万果そ一かす乃る丁未より兩千  
まま一丁万歳ににぎのま丁未より一丙戌まで  
ホ一果果。かすてこのま丁亥より一戊午まで  
ま千二万七千八百九千二歳ままこのませむ乃  
る己未より一庚申まま八千二万六千零四

二業天照之祿丁卯より神武天皇即位より  
辛酉より二百年より千九百より今より

爾來 皇胤相續神器相傳正至

今 上矣 神武天皇より一白十之代より

皇帝より一白十之代より神武天皇より一白  
紀にいつく天祖降跡より神武天皇より一白  
七十九方の子に百七十九の代より今より貞享  
甲子より一人皇中一神武より一白之百に

今年貞享甲子

十に 於戲神皇傳來之道寶祿無

窮之誓不亦信也哉若默識之於

言表則可與言神皇之大道而已

矣

中臣

天兒屋命・天押雲命・天種子命・宇佐津  
臣命・伊香津臣命・大御食津命・梨津臣

中臣後

四









一段

高天原

仁

天と云いへども、少中、  
高平をたると此

く、  
は、  
を、  
か、  
た、  
慕、  
さ、  
代、

神  
神  
皇親  
留坐  
須  
皇親  
は、

く、  
は、  
を、  
か、  
た、  
慕、  
さ、  
代、  
留坐  
須  
皇親  
は、

源、  
又、  
い、  
岐、  
か、  
い、  
神、  
神、  
乃、  
命、  
於、  
以、

神、  
神、  
仁、  
集、  
神、  
議、  
仁、  
議、  
給、  
天、  
八、  
百、  
萬、  
乃、



あまくだりゝあふハ秋をれどさちりまよては  
 づ。い終のりだ。あふかゝるゝあつあまつく  
 づ。いまはしよ。こづか。あふれくは。あふんて  
 このくお乃名。十六七といちんざんざんだい乃  
 ちん結めし。いささう。しよあふし。し  
 らあはあふのくづがのくいあふ。あふあふ  
 ひしよあふし。いささう。あふあふ。あふあふ  
 こらあふ乃くよ。あふあふ。あふあふ。あふあふ  
 中六よたあふあふの。うらあふ。あふあふ。あふあふ  
 中八し。あふんこく。あふあふ。あふあふ。あふあふ

にあふこく。あふあふ。あふあふ。あふあふ。あふあふ  
 こく。あふあふ。あふあふ。あふあふ。あふあふ  
 中六に。あふあふ。あふあふ。あふあふ。あふあふ  
 中七し。あふあふ。あふあふ。あふあふ。あふあふ  
 中八に。あふあふ。あふあふ。あふあふ。あふあふ  
 あふあふ。あふあふ。あふあふ。あふあふ。あふあふ  
 にあふのあふ。あふあふ。あふあふ。あふあふ。あふあふ  
 中六に。あふあふ。あふあふ。あふあふ。あふあふ  
 中七に。あふあふ。あふあふ。あふあふ。あふあふ  
 中八に。あふあふ。あふあふ。あふあふ。あふあふ  
 中九に。あふあふ。あふあふ。あふあふ。あふあふ  
 中十に。あふあふ。あふあふ。あふあふ。あふあふ  
 中十一に。あふあふ。あふあふ。あふあふ。あふあふ  
 中十二に。あふあふ。あふあふ。あふあふ。あふあふ  
 中十三に。あふあふ。あふあふ。あふあふ。あふあふ  
 中十四に。あふあふ。あふあふ。あふあふ。あふあふ  
 中十五に。あふあふ。あふあふ。あふあふ。あふあふ  
 中十六に。あふあふ。あふあふ。あふあふ。あふあふ  
 中十七に。あふあふ。あふあふ。あふあふ。あふあふ  
 中十八に。あふあふ。あふあふ。あふあふ。あふあふ  
 中十九に。あふあふ。あふあふ。あふあふ。あふあふ  
 中二十に。あふあふ。あふあふ。あふあふ。あふあふ





陽復記  
唯一神道俗解

二段

如此

のらとがこいす

寄奉

國

中

荒

あつてふやういふとれし。とろくざらものな。  
人れ乃りげがし。回。ワッガ。よぶ。あま。  
おびしぬ。不にの病人。よに。さり。ま。し。り。  
こ乃。い。い。は。か。と。が。久。の。神。言。の。新。後。と。  
は。一。乃。定。準。と。奉。た。ま。ふ。実。有。乃。を。  
ゆ。度。し。て。か。さ。ら。な。く。お。ま。の。ひ。く。ん。ん。  
せ。と。せ。い。ふ。と。れ。陽。少。記。再。唯。一。神。乃。俗。解。  
し。も。り。う。ま。し。述。り。

振神達

於らりやがら。あ。き。神。乃。は。り。  
あつ神や。い。は。し。や。が。神。

い。は。乃。づ。は。略。して。い。ま。や。が。ら。も。ら。り。や。が。神。  
と。も。い。ふ。と。ら。と。は。由。多。し。ら。ま。や。あ。ら。は。  
さ。ま。ほ。く。ハ。神。や。い。り。ん。ま。く。ら。ら。ら。ら。あ。  
あ。つ。神。ハ。暴。虎。と。ま。ひ。け。し。き。神。し。か。ら。う。人。の。  
し。く。威。を。わ。ら。り。さ。つ。衆。乃。蠅。の。し。く。後。  
倭。名。邪。神。人。自。か。ま。く。回。は。こ。も。は。し。ん。

神問仁問給

比大貴の神。い。せ。せ。ん。と。  
し。ら。ひ。し。て。事。代。主。神。

一 同まふし。祓代のまふにたうんみむすひ  
乃んことふけぬの祓だけとつら此祓。つら  
回よ。あむくごー 神拂仁拂給天ふけ  
後り。説し略く

祓だけとつら此祓へおかあまむら祓ひら  
がこぼさつけてもろく此まらハさる祓まら  
を。つとまいて。回ひけ 語問志  
し。中。祓代のまふあり 志ハ既然此て

にとハ 磐根木立草 乃垣葉 毛語止  
なり

天 一 一 ぬ。どろろとろろやま。とろいぬも山

へともつて。妊恠ハ正人。と。妊をくくろり

して。行や。と。びづく。まんぎあさ。に。そ

は。祓。は。ま。ろ。ろ。げ。ら。ら。も。の。け。と。ほ。も。ま。の。片

あも。結。や。ち。天磐座 於あまは。ま。の。ま。磐石

て。ど。ま。り。不壊乃系。給。一。ら

羽。く。く。ハ。ら。線。の 押放天磐戸 於押開

ま。一。ま。ひ。あ。な。く。押放天磐戸 於押開

天乃八重雲 於 皇孫あまくだり。中。す。の  
し。ま。ひ。な。り。と。れ。り。ん。と。

了やよまをせたまふと。いふとも。わづらうざんぬい  
乃わきき神りうく。此回せいひりか  
ねばあつわりの神をけみづらの神もごら  
らまよくごり給ふく。此回終乃後天孫降  
臨あり。そのいよ戸をけひくさてがし。後わ  
まのまくられまをたされたあけきごも。  
いよりあふひま志くく。母乃胎内母子のま  
り。先産の氣わうてく。後本胎もひま理く  
平産を祈禱しびらうい。修まらにたうまは  
らに神さまうまら。のさまられらと。

中臣初

書

うゆらともいへや。そのまもよじ。魚をれい  
らくひらき。通名なり。八重中は。中孫出を  
とり。神ハ平業と。いふに。たうんごし。まびれま。  
まもよま。あまよま。いひく。まあま。あまらひこ。  
にさのま。い。た。い。あまら。い。給ふ。神代の  
まよく。い。い。れ。ま。い。に。ひ。く。よ。ま。う。  
ら。魚。を。ま。い。れ。ま。い。神。を。  
伊豆乃千別  
のさ。い。ま。い。も。あ。り。ま。ら。い。  
仁千別 天  
天孫降臨乃終踏行く此且河前  
漢書李廣傳よ威稜憚乎鄰國注神

仁千別

書









